

あやべ 市議会だより

No.144

2024年(令和6年)
1月発行



多言語対応サイトへ



日本学校合奏コンクール全国大会グランドコンテスト

《写真》 綾部中学校吹奏楽部



第60回京都府吹奏楽コンクール

あやべ球場スコアボード改修事業 業務委託契約の締結を可決

発行／綾部市議会

綾部市若竹町8の1 綾部市議会事務局

TEL・FAX(0773)42-1259 E-mail/gikajimukyoku@city.ayabe.lg.jp

★ホームページへのアクセスは、検索画面で を入力してクリック!



令和5年12月定例会は11月27日から12月15日までの19日間の会期で開催しました。

本定例会では市長から提案された議案23件を審議しました。議案については、いずれも原案のとおり可決・同意したほか、議会から提案した意見書1件を可決しました。(採決の結果は4ページに記載)

上程された議案は、3つの常任委員会に付託され、審査しました。その内容は次のとおりです。

総務教育建設委員会 市道2路線を認定

●生活保護を受けている外国人の医療機関での診察の手続きが軽減

全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律による生活保護法の一部改正に伴い、生活に困窮する外国人に対する生活保護の措置に関する事務を独自利用事務として位置付けるとともに、番号利用法の一部改正に伴い、マイナンバーの利用及び情報連携に係る規定の見直しが行われたため、所要の改正を行うものです。

質疑の中で、「従来とどう変わるのか、市民に負担はかからないのか」との質問があり、「生活保護を受けている外国人は、改正によりマイナンバーカードを持っている場合は、福祉事務所へ行かずに直接医療機関で受診が可能となり、利便性が向上する」との答弁がありました。また、「マイナンバーカードを持っていない場合は」との質問があり、「従来どおり福祉事務所です手続きした後、医療機関へ行く」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

●市道2路線を認定

南在家3号線、延長約63メートルと井倉日渡り線、延長約91メートルで、どちらも開発により建設された道路を認定するものです。

特に質疑、意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他、4議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決となりました。



市道認定の現地調査(井倉日渡り線)

年頭のごあいさつ



議長 種清 喜之

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様にはつつがなく新しい年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



副議長 松本 幸子

昨年は平成30年以来となる豪雨災害により、志賀郷や物部地区を中心に大きな被害が発生しました。改めまして被災されました方々に心よりお見舞いを申し上げます。復旧に際しては、関係機関及び多くの市民をはじめとするボランティアの皆様のご尽力に心から感謝を申し上げます。

また、一昨年より進行する物価高や円安により、市民生活や地域経済への影響が継続する一年となりましたが、4年間翻弄された新型コロナウイルス感染症においては、感染症法上の分類が5類となったことで、イベントや各種団体の活動など、コロナ以前の賑わいを取り戻してきました。

市議会におきましては、市民生活に直結する物価高騰対策や災害対応では、一日も早く支援が届くよう議論は深めつつも円滑な議会運営に努め、令和5年度において12月議会までに可決・承認した物価高騰対策関係予算は約7億1,500万円、台風第7号に伴う災害対策関係予算は約13億8,500万円となりました。引き続き市民や事業者の皆様との安全安心と地域経済の活性化のため、物価高や災害対応はもとより様々な課題に対し議論を深め対応してまいります。

さらに、昨年度から取り組んでおります議会活性化の取り組みでは、日曜議会の見直しや市民と議会のつどいの改革、市長への政策提言や議員定数に関わる議論など、議員一丸となり精力的に取り組んでいます。引き続き議会活性化の取組を進め、責任ある二元代表制の一翼を担うとともに、議員一人ひとりが市民の皆様のご意見や思いを提案に変え、市政に繋げられるよう努めてまいります。

令和6年は甲辰(きのえたつ)の年であり、暖かい日差しがあまねく成長を助ける年とのこととす。本年が市民の皆様にとつて幸多き年になりますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

産業厚生環境委員会

あやべ球場のスコアボードがLED化に

●あやべ球場スコアボード改修事業業務委託契約を締結

老朽化しているスコアボードを改修するために実施するあやべ球場スコアボード改修事業について、パナソニックEWエンジニアリング株式会社近畿支店を相手方として、契約金額2億295万円で業務委託契約が締結されます。

質疑の中で、「現在の表示方法からどのように変わるのか。また、現在の建屋を再利用するのか。操作場所は」との質問があり、「現在の磁気反転式の生産は終了しており、最近では故障回数も増え、修理のための予備部品も枯渇状況となっているため実施するものである。工事の概要としては、現在の建屋を活用し、LED画面をはめ込み、雨漏り対策も行う予定である。操作については、バックネット裏にある放送記録室で行い、多機能と使いやすさをコンセプトに製作されたソフトを採用し、利用者に優しい仕様となっている」との答弁がありました。また、「新たにスピードガンが設置されることになるが、設置場所や使用料はどう考えているか。他の箇所の改修予定は」との質問があり、「スピードガンはバックネット後方に設置し、スコアボードの使用料に含む予定である。他の箇所の改修予定としては、業者提案も含め、バックスクリーンの塗装、音響設備の更新等を計画している」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。



あやべ・日東精工 スタジアム

| TEAM | 一 | 二 | 三 | 四 | 五 | 六 | 七 | 八 | 九 | R | H | E | TN | 5 | 8 | 3 | D | 6 | 7 | 2 | 4 | 9 | P | |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 東日本 | 0 | 2 | 0 | 1 | 3 | 0 | 1 | 0 | | | | 7 | 12 | 1 | 東 | 安 | 石 | 上 | 遠 | 大 | 海 | 清 | 剣 | 近 |
| 西日本 | 0 | 1 | 4 | 0 | 1 | 0 | 2 | | | | | 8 | 15 | 2 | 西 | 達 | 橋 | 杉 | 藤 | 石 | 江 | 原 | 崎 | 藤 |

| TIME | 2:08 | PL | 1B | 2B | 3B | IN | 8 | 4 | 9 | IN | 5 | 2 | 3 | 7 | 6 | P |
|-------|---------|----|----|----|----|----|---|---|---|----|---|---|---|---|---|---|
| 投球数 | 123 | 中 | 沼 | 根 | 西 | 佐 | 藤 | 瀬 | 相 | 高 | 千 | 塚 | 寺 | 徳 | | |
| SPEED | 145km/h | 村 | 西 | 田 | 岸 | 西 | 日 | 本 | 原 | 木 | 戸 | 馬 | 橋 | 本 | 岡 | 永 |

スコアボードイメージ図

予算決算委員会

物価高騰の影響を受ける低所得世帯及び事業所等を支援するための予算を追加

●令和5年度一般会計補正予算

交通空白地有償運送事業を支援するほか、9月に発生した豪雨により被災した公共土木施設の復旧を行うための経費。また、物価高騰の負担感が大きい低所得世帯や、物価高騰の影響を受ける事業所等を支援するための経費など総額4億9,200万円の追加予算を計上するものです。

意見として、事務処理等、年末年始で大変な時期だが、今日の物価高騰に対し重点支援給付金を1日でも早く支給されたい。とありました。

＜主な事業＞

- ・交通空白地有償運送事業費補助金

●奥上林研修センターの譲渡先が決定

旧奥上林小学校・奥上林幼稚園の施設を平成17年度から各種研修や文化活動、都市との交流の場等として活用してきた奥上林研修センターに係る土地及び建物について、公募型プロポーザル方式による提案を受け、舞鶴市の志摩機械株式会社に753万600円で譲渡するものです。

質疑の中で、「既存建物の維持について、地元の皆さんの建物への思い入れもあるように聞いているが、今後どのように考えているのか」との質問があり、「市内でも現存する数少ない木造校舎であり、今後、法令等を遵守した中で補強工事等の改修が行われることになるが、極力木造を残した形での改修を検討されている」との答弁がありました。また、「今後の利用計画は」との質問があり、「旧小学校では地域の総合案内のほかテナントや地域住民・アーティスト等のレンタルスペースなどに利用される計画であり、旧幼稚園ではシェアキッチンや子ども向けスペース等に、体育館はスポーツ交流やドローンの講習、ボルダリングスペース等に、グラウンドは自然体験活動や子ども向けのミニスキー場などとしての利用が計画されている」との答弁がありました。

特に意見もなく、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

その他、4議案について審査を行い、採決の結果、全員賛成で可決となりました。

- ・現年発生公共土木施設災害復旧事業費
- ・価格高騰重点支援給付金支給事業費
- ・社会福祉施設等電気代高騰対策応援事業費
- ・医療機関エネルギー価格高騰対策事業費
- ・農業者省エネ機器転換支援事業費
- ・畜産事業者省エネ機器転換等支援事業費

その他、特別会計5件と公営企業会計3件を審査しました。

採決の結果、10議案とも全員賛成で可決となりました。

議決結果の一覧

《全員賛成で可決・同意した議案》

| 件名 | | 結果 |
|-----------|--|----|
| 議第79号 | 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第80号 | UIターン者定住支援住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第81号 | 市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第82号 | 教育委員会の教育長の給与等に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第83号 | 一般職職員の給与に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第84号 | 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 可決 |
| 議第85号 | 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について | 可決 |
| 議第86号 | 国民健康保険条例の一部改正について | 可決 |
| 令和5年度補正予算 | | |
| 議第87号 | 令和5年度一般会計補正予算（第7号） | 可決 |
| 議第88号 | 令和5年度市立診療所等特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 議第89号 | 令和5年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議第90号 | 令和5年度介護保険特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議第91号 | 令和5年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議第92号 | 令和5年度住宅・工業団地事業特別会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 議第93号 | 令和5年度上水道事業会計補正予算（第2号） | 可決 |
| 議第94号 | 令和5年度下水道事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 議第95号 | 令和5年度病院事業会計補正予算（第1号） | 可決 |
| 議第100号 | 令和5年度一般会計補正予算（第8号） | 可決 |
| 人事案件 | | |
| 同第24号 | 公平委員会委員の選任について | 同意 |
| その他議案 | | |
| 議第96号 | あやべ球場スコアボード改修事業業務委託契約の締結について | 可決 |
| 議第97号 | 市有財産中一部譲渡について | 可決 |
| 議第98号 | 里山交流研修センターの指定管理者の指定について | 可決 |
| 議第99号 | 市道路線の認定について | 可決 |
| 意見書 | | |
| 意見第5号 | イスラエル・ハマス間の武力衝突の即時人道的停戦への外交努力を日本政府に求める意見書 | 可決 |

可決した意見書

- イスラエル・ハマス間の武力衝突の即時人道的停戦への外交努力を日本政府に求める意見書
可決した意見書は関係機関へ送付しました。内容は11ページに記載。

同意した人事案件

- 公平委員会委員の選任 梅田 貴美子 さん（梅迫町）＝再

市政を問う

12月5日から7日までの3日間にわたって15人の議員が市政全般について質問を行いました。
ここでは一般質問の要旨を掲載します。(掲載は登壇順)

民政会

あん 藤 かず 明
安 藤 和 明

令和6年度の当初予算編成方針は



Q 山崎市長4
期目の2年間、
しっかりと課題
を把握し、目標
を定め、将来へ
の種まきに心が
け、予算措置を
進めてこられた。あやテラスの完成をはじめ、市民の活動拠点となる新市民センターや里山交流研修センターなど各種施設も計画的に整備。また、市民の自主的な活動への積極的な支援のための各種奨励補助金も充実されてきた。そこで令和6年度の政策的経費の予算編成方針は。

A 持続可能な財政基盤の確立に向けて、事業の最適運営と財政規律の確保を図りつつ、第6次総合計画の基本目標への対応のため、引き続き「医・食・住・教育・情報発信」を基本に更なる施策に取り組み。具体的には、西部地域の振興と消防・救急対応の拠点施設整備。また旧綾部幼稚園を改修し、こども発達支援拠点施設の整備。旧市民センター跡地の都市公園整備。あやべ温泉周辺での道の駅構想の推進。旧図書館を活用し市民団体の活動拠点の整備。市民の利便性の向上に向けた市役所まちづくりセンターの改修工事を考えている。また、子育て環境の充実など子ども政策を一層推進する必要がある。国・府との更なる連携により限られた財源や人材を有効活用し、事業の選択と集中による予算編成を行う。

民政会

ふじ 岡 こう じ
藤 岡 康 治

水無月花火大会拡大で活性化を



Q 綾部市の
花火大会は立地的
にも観光PR
の好機だと考える。
亀岡保津川
花火では有料席
(2万5,000
席)や駐車場有
料化での収益化で1万発を打ち上げている。今年の花火大会は多くの観覧客で盛り上がったが、来場者数、打上げ数など現在の花火の状況は。

A あやべ水無月まつりは商工会議所と綾部市などで構成する実行委員会が主催する本市最大のイベント。今年はコロナ禍前に近い形で開催し4,000発の花火を打ち上げた。来場者は令和元年3万1千人、昨年は3万5千人、今年は4万人と増加している。水無月まつりは企業からの花火スポンサー料や協賛金、市民からの寄附等で資金調達しているが、観覧客の増加などに対応するため警備を強化するなど経費の増加が課題となっている。今後駐車場の有料化について検討も必要だが、無断駐車への懸念もあり、慎重に判断していく必要がある。有料観覧席の設置については、今後整備される新都市公園の活用も含め検討を行う。



綾部市戦没者追悼式を問う

創政会 渡 辺 弘 造



Q 今年も、綾部市では戦没者追悼式が開催された。コロナ禍の間は人数制限を設け開催されていたが、本年度は制限を設け

ず開催された。しかしながら、戦没者遺族の高齢化により参加者の減少が著しい状況であり、今後は、現在のような戦没者遺族を対象とした形式だけではなく、子どもたちや一般の市民を含めた市民による合同の平和を願う追悼式に変更してどうか。また、学校での平和に関する学習や児童生徒の追悼式への参加はできないか。

A 市民参加に対しては、追悼式というのは戦没者への追悼の意を表す場とともに、平和を希求する場でもあり、今後は遺族の思いを聞かせていただき、より多くの市民が参加できる追悼式を検討していきたい。

学校では社会科や国語科などで平和学習を行っている。地球市民の集いや綾部市民平和祈願の集いなどにも多くの小・中学生が参加をしている。児童生徒の追悼式への参列については考えていないが、追悼式で読み上げられた戦没者遺族の追悼の言葉を平和教育の学習の資料として学校に提供している。



有機フッ素化合物の土壌等の調査を

日本共産党 よし 崎 篤 子



Q 有機フッ素化合物のPFOS・PFOAは人体に悪影響のため、製造・販売が禁止になっている。天野川と合流する犀川

の水質検査が国の暫定基準を上回った数値となり、この流域の農産物や土壌の調査によって実態を解明し、住民に正確な情報の提供をすべきでは。

A 国や府に対して早期に土壌調査や農畜産物などへの影響について、その評価方法や科学的な知見を示すよう求めてきた。農林水産省では、農地土壌等を通じた農作物へのPFASの移行を把握することを目的に、本年度から5年間、試験研究を開始される。

Q 今夏の猛暑・干ばつによって、本市においても農畜産物の生産が質量とも低下した。また、資材等の物価高が続き、経営に直撃し営農継続の支援が必要では。

A 収入減少に対しては、農業経営収入保険の掛け金に補助しており、異常気象の対策支援は、農業者の実状に応じて様々な補助事業により支援を行い、肥料高騰については、化学肥料低減定着対策支援策を講じ支援している。

Q 学校給食の地元産農産物供給の「あじわいランチ」の今後の取組は。

A 今後、子どもたちの食と農への理解促進の「あじわいランチ」は継続する。



ツキノワグマ被害防止対策を問う

創政会 藤 光



Q 全国的にクマの目撃や被害が多い。本市の含まれる丹波個体群のツキノワグマの推定生息数は、平成28年度で約250頭、

令和2年度では約650頭とおよそ3倍に増加。近年のツキノワグマの目撃状況、痕跡状況、被害状況、捕獲実績数は。

A 目撃情報は令和4年度が53件、本年度は11月末現在で48件。痕跡情報は令和4年度が26件、今年度は11月末現在で39件。目撃及び痕跡情報ともに近年は横ばい。令和2年11月に人身被害が発生して以降、人身被害はない。第二種特定鳥獣管理計画のツキノワグマ令和5年度事業実施計画で、丹波個体群の捕殺上限数が127頭と定められ、個体数を管理。捕獲数は、令和4年度が14頭、本年度は11月末現在で7頭となっている。

Q ツキノワグマの目撃、痕跡情報があった場合の対応や出沒対策、市民が被害に遭わないための対策は。

A 関係機関と情報共有を図っているほか、あやべーの活用や、自治会を通じて注意喚起のチラシを配布し市民へ周知。通学路が近い場合は、職員が通学時間にパトロールも実施。クマ対策果樹等伐採事業や、自治会連合会への説明会で注意喚起、自治会の要望により捕獲檻の設置もしている。

創政会

まつもと さちこ
松本幸子

「お悔やみコーナー」設置の考えは



Q 死亡届提出後、遺族は多くの手続きをするために関係課を回らなくてはならない。悲しみを抱えて来庁される市民の精神的負担、高齢者であれば体力的負担となる。多くの手続きが一か所のできる「お悔やみコーナー」設置の実現を。

A 庁内での情報共有の推進や国の動向、最新システムの情報収集、他市の事例の研究等行っている。しかし、場所の確保やシステムの導入、財源等の検討、担当職員の人員配置や全ての手続きに精通する職員の育成が必要であり、クリアすべき課題が多い。本市に合ったサービスの実現に向け研究していく。

Q 綾部国際交流協会は、平成11年10月に設立され24年が経過した。この間、市からの委託で在住外国人の日本語指導や、相談対応もされている。近年会員数も20人程で高齢化してきており、市の仕事と捉えもつと関わってほしいと要望されている。舞鶴市や京丹後市のように、市に専門の担当課を設置してはどうか。

A 本市でも近年、在住外国人が増加し、ますます協会への負担が大きくなってきた。多文化共生の面からも市と協会、市民が一体となることが重要。今後とも協会と意見交換し連携を取り検討を進める。

民政会

かたおか ひであき
片岡英晃

災害ボランティアセンターの総括は



Q 台風第7号に起因する大雨により、志賀郷・物部地区を中心に甚大な被害が発生した。8月18日には、災害ボランティアセンターが設置され、11月12日まで被災された方々の復旧に向けて尽力された。災害ボランティアセンターの運営に関して、どのように総括されているのか。運営側の課題等はなかったか。

A 運営には、社会福祉協議会など市内10団体で構成する災害ボランティアセンター運営委員会を中心に、延べ446人の応援スタッフの協力を得ることができた。課題は、センター運営の中心となるスタッフの確保が挙げられる。中心となるスタッフをどのように確保し育成していくかを今後、検討しなければならない。

Q ボランティアは、現場とのマッチングが行われ班になって行動する。その際に、班長を決め現場で指示していくため、班長は重要な役割を担うことになる。今後のためにもリーダー養成講座などを実施していく必要があるのではないか。

A ノウハウを持つボランティアが増えることは、心強い存在になると考える。しかし、講習会の費用等の課題もあり、災害ボランティアセンター運営委員会において、人材育成の在り方について検討していきたいと考えている。

創政会

うめはら かつし
梅原哲史

相続土地国庫帰属制度の利活用は



Q 令和5年4月から相続土地の国庫帰属制度が導入された。相続により取得した土地を放棄して、山林が帰属された場合、立木の所有権はどのようなになるのか。

A 権利関係が帰属する土地と同一でなければならず、国庫に帰属される。土地と立木の所有権が異なる場合、担保権又は使用及び利益を目的とする権利が設定されている土地と判断され申請できない。

Q 法務省によれば相続や遺贈によつて土地の所有権を取得した相続人は、帰属の承認申請をすることができる。複数の人で所有している共有地、例えば共有名義により所有されている山林組合はこの制度を利用することができるのか。

A 山林組合など法人名の申請は、土地が法人の財産となることから申請できない。

Q 組合が所有する山林は放置せず、国や府の事業を活用し、本市の森林整備を更に推進することが重要と考えるが、府の事業と市の森林整備施策との関連は。

A 本市では森林経営管理制度を活用し、森林経営管理意向調査実施計画の精査を実施。地元から森林経営の相談があった地区について、林業事業体による森林経営計画が成り立つと判断した場合には、直接林業事業体へのあっせんを行うなど、森林経営管理を進めていく。

公明党 **渡辺 小百合**

生ごみ処理機購入の助成金を



Q 本市から排出される可燃ごみのうち、紙類に次いで排出の多い生ごみの削減のため、生ごみを短時間で乾燥することのできる生ごみ処理機を使用するモニターを実施されたが、生ごみ処理機モニター事業の詳細と検証結果及び現状は。

A モニター事業は、綾部市環境市民会議のごみ削減プロジェクトの事業として、令和4・5年度で実施された。モニターは各年度10世帯で、処理機を貸し出し、日常利用で投入した生ごみの種類と重量、乾燥後の重量を報告いただいた。報告データを集計した結果、平均で72・81パーセントの減量になることが判明した。このうち8世帯が処理機を買い取り、引き続き利用されている。

Q 生ごみ処理機モニター事業の検証結果も良好だったことから、もつと市民に広く周知し普及することで可燃ごみの削減になると考えるが、生ごみ処理機購入の助成金の考えは。

A 生ごみ処理機の活用への推進について、環境市民会議から提言を受ける予定。モニター事業で効果が確認されたので、家庭系可燃ごみの減量化につながる家庭でできる取組の一助として、生ごみ処理機購入助成制度の導入を検討していきたい。

日本共産党 **塚崎 泰史**

原子力災害時の放射線防護を問う



Q 令和5年10月と11月に国と京都府が行った原子力防災訓練について、本市職員が従事した訓練内容は。また、職員の放射線防護対策の具体的内容や事前・事後を含む教育や研修は。

A 防災行政無線及びメールマガジン、ホームページ、車両広報等での情報伝達訓練、住民避難を誘導するバスの添乗業務、市保健師による安定ヨウ素剤の緊急配布の訓練への従事や事前の説明会の開催、事後にはアンケートを実施した。また、これまでから毎年国・府の原子力防災に関する研修を受講している。

Q 避難する住民や車両を対象にした除染訓練（避難退域時検査訓練）を見て、今後、除染作業の資機材や要員の防護服など放射線防護の後退を懸念する。令和3年度、国は不織布防護服や除染資機材を交付金対象から外した。市の考えは。

A 国のマニュアルが変更された。例えばバスの除染は、研究結果に基づき、従前の流水除染から拭き取り除染が基本となった。防護服は、これまで基本的には検査・除染担当者は原則防護服を着用していたが、国のマニュアル改正で着用しなくてよくなった。京都府は、国の基準より厳重な装備で対応されたと認識している。

日本共産党 **井田 佳代子**

施設の老朽化とごみ処理計画は



Q 国の地球温暖化対策2050年温室効果ガス実質ゼロ「カーボンニュートラル」、プラスチック資源循環促進法により焼却中心からごみの減量、資源化優先へと大きな転機にきている。市のクリーンセンターは供用開始から20年が経過しており、将来のごみ処理方法も含めた考え方は。

A RDF製造設備の経年劣化が顕著になり、今年5月ごろから故障が相次いだ。第2最終処分場の埋め立て期間は令和14年度末までを想定しており、その時期まではRDF施設も修繕しながら継続して使用していきたい。

Q RDFは発電効率がよいという理由で、プラスチックを加熱し固め、それをまた燃やすという点で地球温暖化を加速させている。国際的には焼却によるエネルギー回収発電はリサイクルと認められていない。現在国はこれを認めているがごみの分別資源化が進めば、RDFを作るためのごみは大幅に減少するかどうか。

A 令和14年以後の中間処理と最終処分の方法について、施設の建設、ごみ処理の広域化、ごみ処理の委託など、廃棄物処理の将来計画について、研究・検討を重ねていきたい。



台風第7号の災害復旧について問う

お 夫 文 田 本 民政会



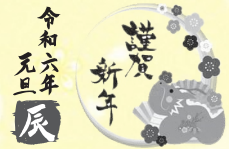
Q 今回の災害では、幸いにも人的被害はなかったものの、谷からの土石流や流木が農地、河川、道路及び住宅等へ流れ込み甚大な被害が発生したが、災害現場には治山ダムが幾つか必要では。

A 大規模な被害のあった篠田町、坊口町、内久井町に、治山ダムの設置を京都府に要望。緊急性の高いものから京都府が事業主体として順次実施される予定となっているが、完成には複数年かかる見込みである。

Q 志賀郷・物部の犀川越水現場は、堤防の両側に大型土のうを積まれているが、この状態が長く続くと、景観も悪く、いつまでも災害の悪夢を思い出したり、地域の住民の方にとって精神的につらい状況であったりすることから、一日も早い本工事の着工を。また、藤谷川の内水対策の計画は。

A 犀川の対策については、今年度実施されている現況疎通能力調査を踏まえて検討が行われる予定であり、綾部市や地元との意見交換を行った上で、早期に対応案の策定を行いたいと京都府から聞いている。藤谷川の対策については、犀川との関連が大きいいため、犀川の対応策立案後に、市としても対応策の検討を行いたいと考えている。

会派の抱負



創政会



未来への決断!!
市民と歩む創政会

後藤 光
松本 幸子
高橋 輝
柳原 秀一
梅原 哲史
渡辺 弘造

民政会



綾部の未来を
明るく照らす民政会

種清 喜之
藤岡 康治
本田 文夫
片岡 英寛
酒井 裕史
安藤 和明

みらいのあやべ



語った夢が実現に向かう
未来の綾部に

中島 祐子

日本共産党



平和を守り、
命暮らし第一に

塚崎 泰史
井田 佳代子
吉崎 篤子

酪友会



若者・高齢者とも
明るく元気に!!

河北 ひさ子

公明党



こどもを真ん中に、
全ての世代が輝く社会を

渡辺 小百合

可決した意見書

●イスラエル・ハマスの武力衝突の即時人道的停戦への外交努力を日本政府に求める意見書

イスラム組織ハマスによるイスラエルへの大規模な軍事行動に端を発したハマスとイスラエル軍の戦闘において、子どもを含む多くの人々が犠牲になっている。

特にパレスチナ暫定自治区ガザ地区においては、人の移動や物資の供給が大きく制限される中、食料や電力、医療品等の不足が深刻な状況にある。また、大半の病院で機能が損なわれ、負傷者のみならず、病人や新生児、幼い子どもまでもが尊い命を落としてしまう状況にある。

綾部市は新たな国際秩序の構築を謳った世界連邦都市宣言を日本で初めて行い、世界恒久平和の確立を市是とする平和のまちであり、尊い人命が脅かされる凄惨な状況に大変憂慮している。

ガザ地区での戦闘激化を受け、すでに日本政府は物資などの支援を行うとともに、議長国を務めるG7外相会議において戦闘の人道的休止や人道回廊を求める共同声明を取りまとめるなど、平和解決の道筋をつける取組を進めているが、事態の早期鎮静化は未だ見通すことができていないのが現状である。

このような中、12月12日に行われた国連総会の緊急特別会合は、ガザの破局的事態を回避するため即時の人道的停戦を要求する決議を、日本政府を含む圧倒的多数の賛成で採択した。

以上のことから、本市議会は日本政府に対し、即時の人道的停戦及び公正で永続的かつ安全な平和解決を、これまで以上に国際社会や国際機関に強く働きかけ、国際社会の架け橋となり、さらなる外交努力を尽くすことを強く求める。

令和6年3月定例会の日程予定

3月定例会は、2月26日から3月22日までの26日間の会期で予定しています。

| | | | |
|----------|----------------|---------------|---------------|
| 2月26日(月) | 本会議(議案上程、一部採決) | 8日(金) | 総務教育建設委員会 |
| 3月 4日(月) | 請願受理締切り(正午) | 11日(月) | 産業厚生環境委員会 |
| 5日(火) | 一般(代表)質問 | 12日(火) | 予算決算委員会(総括質疑) |
| 6日(水) | 一般質問 | 13日(水)~19日(火) | 予算決算委員会(予算審査) |
| 7日(木) | 一般質問 | 22日(金) | 本会議(採決) |

次世代からのメッセージ

～吉美小学校～

(令和5年12月取材)

第6回の小学校編は、吉美小学校へ広報広聴委員が訪問し、5・6年生の代表委員会7名の皆さんの声を聞いてきました。

学校のどんなところが好き？

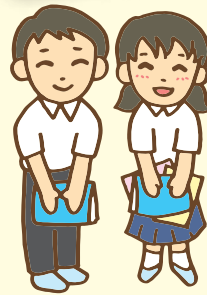
- 助け合いや教え合いができる人がいるところ。勉強がわからない時に教えてくれた人がいたから。
- 友達といっぱい遊べること。すこし前に学級へいさになって友達と遊ばなかって、友達といっぱい遊ぶことはいいことなのです。
- みんながやさしいこと。先生や友達がたすけてくれたから。
- 思いやりがあるところ。けがをしたときにたすけてくれた。
- 近くに自然がたくさんあって、窓からたまにコウノトリがみえるところ。
- グラウンドが広くて、おもいきり外であそべるところ。
- 優しい人や優しい先生が多い。校歌。

綾部（地域）のどんなところが好き？

- 自然がゆたか。緑をみていると心が休まります。人がやさしい。
- 自然がゆたか。自然がきれいなことで景色がきれいだからそれを保つことが大切です。
- 自然が広がっていて四季が感じられることです。
- 自然。京都市に行って帰ってきたときに空気がおいしかった。
- 自然がたくさんあるところ。優しい人が多いところ。
- 自然豊かな所。
- 都会より物が安い。

地域の人にありがとう!周りの大人に感謝していることは？

- 登校に大人の人がついてきてくれること。毎日ついてきてくれるのでうれしいです。
- 毎日あいさつをしてくれてありがとう。毎日地域の人にあいさつをしてくれるおかげで元気になります。
- 下校や登校をみまもってくれていることです。
- 毎朝、登校するときについてきてくれる(安全のために)。
- 雨の日も寒い日も毎朝、見守ってくれていること。
- 毎朝、安全に登下校させてくれること。
- いつも安全に登校ができるように見守ってくれてありがとう。



大きくなったらどんな仕事がしたい？(目標)

- テニスをしているからテニス選手。
- ほりうち機械ではたらきたいです。工場けんがくにいて組み立てが楽しそうだったのでほりうち機械で仕事をしたいです。
- 世界で一番人の役に立てる人になりたい。
- 体を使う仕事。
- たくさんの人を笑顔にできる仕事。
- 世界一の優しい人間。
- 裁判に関する仕事をしたい。

取材を終えて



手をあげて元気に取材に応じてくれました。6年生が5年生にやさしく接し、学年の枠を越えて仲良く活動している様子が伝わってきました。地域の人たちに大切に見守られ、そのやさしさが子どもたちにも広がっていることが感じられました。みんなが大好きな綾部の良さを守り、誰もが夢や目標をかなえられるまちとなるよう私たちも精一杯、努力していきます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様におかれましては、佳き初春をお迎えになられたことと存じます。

昨年は、本市も、台風第7号により甚大な被害に遭い、市民の皆様にとって辛い年となりましたが、多くのボランティアの皆様のご協力により復旧へと進んでおります。

そんな中であって11月には、構想から8年をかけた市民待望の図書館・地域交流センター・子育て交流センターの3つの機能を併せ持つ複合施設「あやテラス」がオープンしました。今年も綾部市にとって、未来を明るく照らす成長の一年になりますことを願っています。

さて、広報広聴委員会では、昨年からの議会活性化の一環として、市民と議会のつどいを新たな手法で取り組みました。今年も皆様に関心を持っていただけるように努めてまいります。

結びに、本年が素晴らしい年となりますようご祈念申し上げます。



編集/広報広聴委員会

◎松本幸子 ○中島祐子 後藤光 渡辺小百合 塚崎泰史 酒井裕史 片岡英晃 高橋輝 (◎委員長 ○副委員長)